

11 月 14 日 : 指数は横ばい

前場は上昇する場面もあったが、後場にかけて売り圧力が高まり、ほぼ変わらずで取引を終えた。

エネルギー・石油株は VN 指数を前場に押し上げた。ブレント原油先物指数は 0.8% 上昇し、62.54 ドル/1 バレルで取引された。

しかしながら、売り圧力が徐々に高まり指数は下落し、最終的には 0.47 ポイント (0.05%) 安の 1012.3 ポイントで取引を終えた。FPT グループ (FPT)、モバイルワールドインベストメント (MWG) はそれぞれ 3.6% と 2.6% 下落し 58300 ドンと 116800 ドンで取引を終えた。

流動性は悪化、出来高と売買代金はそれぞれ 27%、33% 減少し、2 億 940 万株と 4.5 兆ドンが取り引きされた。FLC ファロス建設 (ROS) は出来高が 3100 万株で 0.2% 高の 25000 ドンで取引された。

フンブオン水産はストップ安の 7230 ドンで取引された。20 取引日で 19 取引日で上昇し、14 取引日でストップ高を記録していた。

BIDV 証券によると、火曜日の米中貿易摩擦に関するトランプ大統領の発言を受けて、利益確定圧力が高まっており、指数が落ち着くまでにもう少し時間が必要だと語った。

第四四半期は支持材料があまりなく、また指数は高値に達しているため、調整は入るかもしれない状況だ。投資家はファンダメンタルズが良好な銘柄にポジティブであるとレポートで述べた。

サイゴンハノイ証券は、買い需要が戻るまでネガティブなトレンドが続くかもしれない。VN 指数は調整が続き、1000-1005 ポイントで推移するだろうと語った。

HNX 指数は 0.9% 下落し 106.24 ポイントで取引を終えた。アジアコマーシャル銀行 (ACB) が出来高トップであったが、2% 安の 24500 ドンで取引を終えた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。